

平成30年度事業報告

本協議会は、関西エアポート株式会社による自律的な運営方針を尊重しつつ、航空会社、自治体など関係機関と連携し、航空ネットワークの強化やインバウンドの拡大、関西の魅力発信など、前年度の取組を継続、深化させ、関空を活用した関西全体の成長・発展を促進させる取組を行った。

I 各種会議等の開催及び要望活動の実施 決算額 1,281千円

国等関係機関との協議・調整活動を行うとともに、協議会構成団体間で、協議会運営などに関する合意形成に努めた。

また、関西エアポート株式会社と連携し、国等関係機関に対して、関空の機能強化のための施策推進に向け、要望活動を行った。

(1) 総会の開催

- ・開催日：平成30年7月24日
- ・議事：①平成29年度事業報告及び収支決算報告の件
②平成30年度事業計画及び収支予算の件
- ・要望決議

(2) 理事会の開催

- ・開催日：平成30年7月18日
- ・議事：総会への付議議案について

- ・開催日：平成30年12月17日
- ・議事：平成30年度予算の流用及び予備費の充当について

(3) 理事・特別参与・参与団体担当課長会議（事務局会議）の開催

- ・開催日：平成30年7月11日
- ・議事：①平成30年度促進協総会議案について
②平成30年度促進協要望について
③その他
- ・開催日：平成30年12月4日
- ・議事：①平成30年度事業の取組状況について
②平成30年度予算の流用及び予備費の充当について
③その他
- ・開催日：平成31年3月19日

- ・議 事：①平成30年度事業の取組状況と決算見込みについて
- ②平成31年度取組方針及び暫定予算について
- ③その他

(4) 要望活動の実施

- ・平成30年8月23日、関係省庁等に事務局から要望文を配付。
- ・平成30年9月4日、国土交通省、法務省、財務省を訪問し、出入国時の受入環境の改善のほか、なにわ筋線の新規事業採択やグランドハンドリング人材等への外国人の活用などについて要望を行った。

II 広報活動の実施

決算額 512千円

(1) ホームページ及びメールマガジンによる情報発信

本協議会の活動状況のほか、関空や航空会社に関する情報、各自治体の観光情報などを協議会ホームページに掲載するとともに、メールマガジンを毎月1回配信した。

(2) PRパンフレットの作成

本協議会PRパンフレット「国際拠点空港としてのさらなる発展をめざして」を日本語(1,500部)・英語(300部)で作成し、国への要望活動やプロモーション活動の場にて活用した。

III 管理運営

決算額 477千円

本協議会の運営を行い、必要な事務局経費の支出及び経理処理を行った。

IV 関西国際空港ゲートウェイ機能強化促進事業

関空を活用した関西の発展とアジアのゲートウェイを目指す関空の成長に資するよう、関係機関との共同・連携を図り、「航空ネットワークの強化とインバウンド拡大」、「関西の魅力発信と食の輸出促進」、「関西国際空港のアクセス利便性の向上」の取組を行った。

また、台風第21号による被害で落ち込んだ旅客需要を早期に回復させるため、緊急取組として「関西国際空港インバウンド復興支援緊急対策事業」を行った。

(1) 航空ネットワークの強化とインバウンド拡大

決算額 73,519千円

①航空会社と連携した関西インバウンド促進共同事業等の実施

関空のインバウンド効果を関西一円へ浸透させ、関空の航空路線の維持・強化につなげることを目的に、中長距離路線を運航する航空会社や自治体等と共同・連携し、海外の旅行会社やメディアを対象とした招聘旅行や関西への旅行商品の造成等を行った。その結果、欧州、中東等からの旅客需要の拡大に寄与するとともに、定期便の拡充に繋げ

ることができた。

また、その魅力が未だ知られていない地域の観光資源を地域とともに発掘し、海外へ発信するため、関西ローカルの観光資源発掘・PR事業（パイロット事業）を実施し、訪日外国人の宿泊者数の増加に寄与した。

航空会社	実施時期	実施内容
スクート	平成30年6月～	体験取材と販促キャンペーン （訪問先：淡路島、徳島県）
KLMオランダ航空	平成30年8月～	体験取材と販促キャンペーン （訪問先：滋賀県、京都府）
ピーチ・アビエーション	平成30年9月～	体験取材と広報誌等による情報発信 （訪問先：福井県、大阪府）
エミレーツ航空	平成30年10月～	関西向け旅行商品の造成 旅行代理店の招聘旅行 （訪問先：大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）
ピーチ・アビエーション	平成30年12月	<パイロット事業> 体験取材と販促キャンペーン （訪問先：福井県）

②海外プロモーションの推進

前記のインバウンド促進共同事業との一体的な取組として、関西の自治体等とともに、エミレーツ航空本社を訪問するとともに、UAE主要都市において、旅行代理店向けプロモーション活動を実施した。

実施時期：平成30年11月

訪問先：ドバイ、アブダビ、シャルジャ

③訪日外国人に対する災害時対応の啓発

関空を利用する外国人旅行者に対して、安全・安心して旅行ができるよう、大阪府、民間事業者と共同して、多言語（英語・中国語・韓国語）の災害時対応リーフレットを作成し、関空や主要な駅、観光案内所等で配布した。（約30,000部）

④関西国際空港インバウンド復興支援緊急対策事業の実施

台風の被害により落ち込んだ関空の旅客需要を早期に回復させるため、緊急取組として関空の国際線で就航便数の多い航空会社12社と共同して、「関空の完全復活と関西は安全」を世界に向けて発信する取組を行うことにより、旅客需要の早期回復に寄与した。

航空会社	実施時期	実施内容
------	------	------

ピーチ・アビエーション 大韓航空 アシアナ航空 チェジュ航空 エアプサン ジンエアー ティーウェイ航空 中国国際航空 中国東方航空 キャセイパシフィック航空 香港エクスプレス チャイナエアライン	平成 30 年 9 月～11 月	航空会社の関空便キャンペーンと併せ、自社ホームページやSNS等を活用し、関西の観光地や魅力を世界に向けて情報発信。
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------	-----------------------------------------------------------

(2) 関西の魅力発信と食の輸出促進

決算額 2, 094 千円

① 関西の魅力と特産品の発信

訪日外国人等に対し、関西の魅力をPRするため、支援制度の拡充を図ることにより、関西の自治体、関西エアポート株式会社等との連携のもと、空港ターミナルにおける地域の特産品や観光・文化のPR活動を推進した。

② 食の輸出手続のワンストップ化の推進

関西からの「食」の輸出を促進するため、国の理解・協力のもと、大阪商工会議所と共同で、複数の食の輸出関連証明書をワンストップで交付し、輸出手続きの利便性向上を図る実証実験を行い、同会議所において国の輸出証明書を3,999件交付した。

(3) 関西国際空港のアクセス利便性の向上

決算額 1, 730 千円

① 多様な関空アクセスの充実

関空と神戸を高速船により短時間で結ぶ海上アクセスについて、海外及び訪日外国人にPRするための広報活動に対して支援した。

② 訪日外国人にとってのアクセス利便性の向上

訪日外国人が円滑・快適に鉄道を利用して、関西各地を訪れることができるよう、鉄道ネットワークマップや観光情報、アクセス方法等を掲載したパンフレット（英語）の作成を支援した。